

タウンサポーター

下都賀教育事務所 ふれあい学習課
栃木市神田町6-6 0282-23-3422
E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



下都賀地区ふれあい学習研修会

11月16日(金)、小山市桑市民交流センター(マルベリー館)を会場に「下都賀地区ふれあい学習研修会」を開催しました。今年度は、下都賀地区地域連携教員研修、社会教育主事講習事後研修(ステップアップ研修I)、下都賀地区生涯学習研修会を兼ねて実施しました。



研修の前半は、特定非営利活動法人教育支援協会 代表理事吉田 博彦 氏より、「地域と学校の連携・協力」の演題で講話をいただきました。後半は、講話を受けた意見交換を行いました。

参加者からは、「『地域社会や地域の大人が次世代の子どもを育てる』という言葉が胸に刻み、地域連携教員として尽力していきたいと思えます。」などの感想が寄せられました。

本研修を契機として、各校でのふれあい学習の更なる充実を図っていただければ幸いです。



とちぎ未来大使「夢」講座

とちぎ未来大使「夢」講座は、広く活躍する「とちぎ未来大使」を講師として学校に招き、講話や実演等とおして、中学生に「夢」をもたせ、考えさせる機会の提供を目的とした事業です。栃木県教育委員会が主催し、今年度は下都賀教育事務所管内の中学校5校で開催しました。



下都賀地区で講師を務めてくださったのは「ピアニスト 岩下淳子 氏」、「ヴァイオリニスト 前田みねり 氏」、「シンガーソングライター サトウヒロコ 氏」、「振付師 真島茂樹 氏」です。講師の中学生時代の経験や目標達成までの過程、現在の職業における取組、夢や希望をもつことの大切さ、中学生に向けた励ましのメッセージ等を、熱心に伝えてくださいました。



地域をつなぐ

壬生町 地域活動に励む中学生及び青少年の活躍

10月28日(日)壬生町保健福祉センターにおいて「第32回壬生町健康ふくしまつり」が開催され、ふるふるMibu JLC会員10名がスーパーボール&金魚(おもちゃ)すくいとお菓子釣りの出店を行いました。



小さいお子さんに対しては、制限時間を伸ばしてあげるなど臨機応変に対応し、景品をもらい一喜一憂する来場者の皆さんに最後まで丁寧に対応するJLC会員の姿に頼もしさを感じ、どこか心が温まる行事となりました。

会員たちも「小さい子どもたちがたくさん来てくれて、ゲームをやってくれてのでも嬉しです。」「小さい子どもたちがとても可愛く、癒されました。」「小さい子どもたちが『ありがとう』『ハイバイ』と言ってくれてとてもかわいかったです。」と充実感を得ることができました。今後も壬生町の人々をつなぐ架け橋となるような活動に取り組んでいきたいです。



ふれあい学習

地域課題解決型学習講座

11月21日(水)、石橋公民館にて「考えよう・地域ができる子育て支援」と題し、地域課題解決型学習講座を開催しました。



この講座は、「地域元気プログラム」を活用したモデル事業として実施されたもので、県総合教育センターが主催するプログラム指導者養成研修受講生にファシリテーターを務めていただきました。

当日は30名の参加があり、子育て中の親に対してどのような言動で支援していくとよいのかをエピソードを交えて考え、発表し合いました。参加者にとって家庭教育支援の第一歩となったことと思いますので、今回学んだ「アサーティブな表現方法を活用した子育て支援」を今後色々な場面で活かしていただきたいと思います。市としても地域課題解決型学習を実施する上での課題等を発見することができ、有意義なものとなりました。



小山市民活動センター

特別支援学校の児童・生徒の作品展



12月4日(火)から同10日(月)まで、小山駅西口にある住居と公共施設の複合施設「城山・サクラ・コモン」にて、小山市民活動センター(おやま〜)と城山さくら保育園とが協力する形で、栃木県立国分寺特別支援学校に通う児童・生徒の作品展を開催しました。例年、イオン小山店にて開催してきた作品展を同校通学圏の4市町でとの「コンセプト」で「レインボー作品展」と銘打って各所で展開しました。おやま〜では、学校からの相談を受けて小山市内での会場探しをお手伝いし、さらに当施設を会場とする中で資材搬送と広報の面で応援しました。

作品は期間中、同建物の各施設に入退室した来館者のべ約1000人の人たちが目にし、同校の児童・生徒のみずみずしい作品を見た方々は、口々に感想や感嘆の言を述べていました。



地域とのつながりの中で

県立高校等の取組を紹介します



自然豊かな太平山自然公園内に位置し夜空の星も美しい本校には天文部があります。地元平井町住民に対し年1~2回「星を見る会」を実施し、自慢の40cm反射望遠鏡や、小望遠鏡、双眼鏡を使用して月や惑星の様子を観察してもらっています。多いときは50名ほど、小学生からお年寄りまで天文部生徒による説明も含め楽しんでもらっています。特に、今年7月は火星の大接近ということで大いに盛り上がりを見せました。

本校ラグビー部96名は、11月10日(土)に、とちぎ秋まつりに参加しました。九つのグループに分かれて、それぞれの町内にある山車を引くことができました。「山車は、想像以上に重かった。」「近くで見ると大きくて豪華だった。」と話す生徒にとって充実した1日となりました。

